

1 全国学力・学習状況調査実施状況

(1) 調査内容

① 調査科目

小学校（対象学年：6年生） 国語、算数

中学校（対象学年：3年生） 国語、数学、外国語

② 学習状況調査

学校質問紙調査

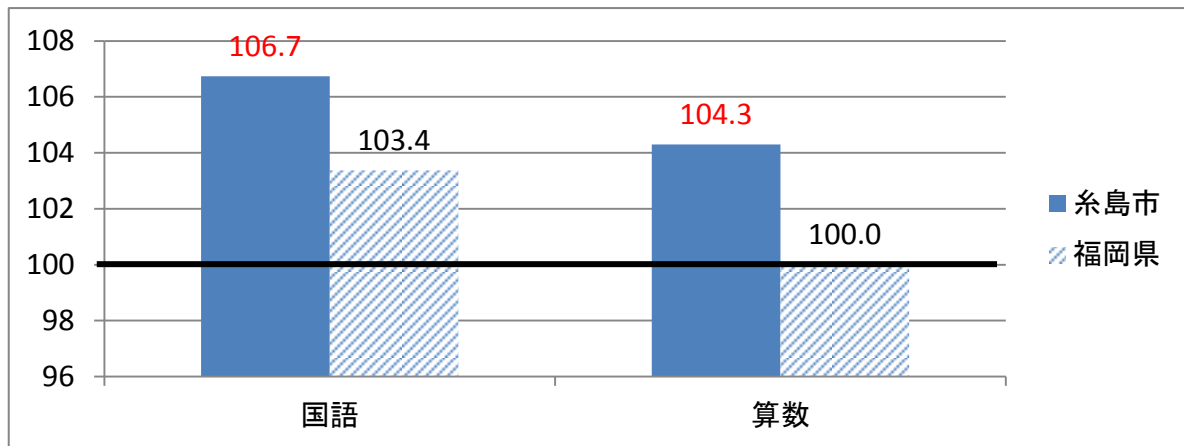
(2) 参加状況（代表値：国語）

小学校 全国：1,028,203人 福岡県：44,458人 糸島市：959人

中学校 全国：938,797人 福岡県：39,699人 糸島市：869人

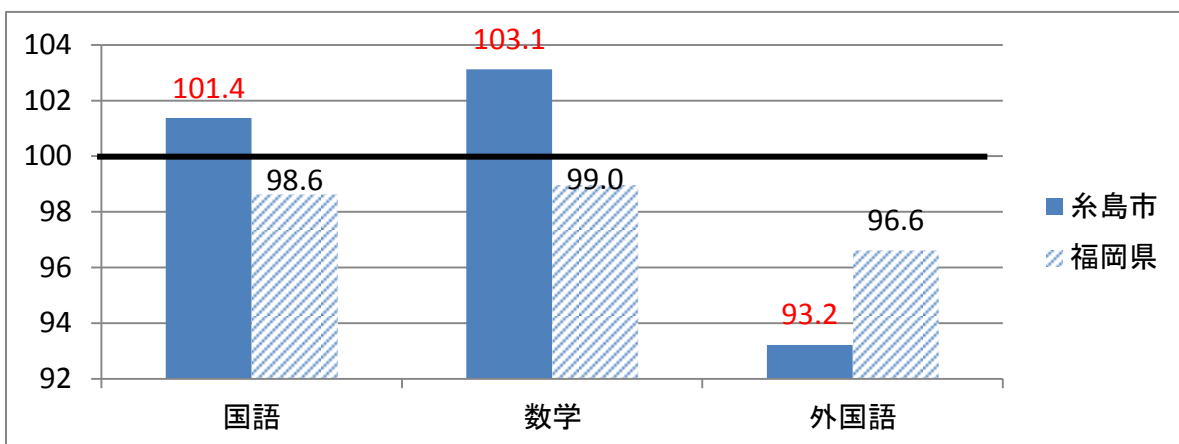
2 平均正答率 ※全国平均を100.0（太線）とした標準化得点に換算

(1) 小学校 第6学年



□ 国語・算数ともに全国平均・福岡県平均を上回った。

(2) 中学校 第3学年



□ 外国語のみ全国平均・福岡県平均を下回った。

3 児童生徒質問紙、学校質問紙から

(1) 自尊感情・規範意識について

- 小中学校ともに、全国平均と比べ、「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合は低かった。
- 小中学校ともに、全国平均と比べ、「将来の夢をもっている」と回答した児童生徒の割合は高かった。

(2) 授業一般について

- 小中学校ともに、全国平均と比べ、「課題解決に向け、自分で考え、自分から取り組む」と回答した児童生徒の割合は低かった。
- 小中学校ともに、全国平均と比べ、「授業内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合は低かった。
- 小中学校ともに、全国平均と比べ、「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合は高かった。

(3) 家庭学習について

- 小中学校ともに、全国平均と比べ、「家で自分で計画立てて勉強をする」と回答した児童生徒の割合は低かった。

(4) 本調査について

- 小中学校ともに、全国平均と比べ、「今回の問題を最後まで解こうと努力した」と回答した児童生徒の割合は高かった。

4 結果から見えた糸島市の課題

- 複数の知識を組み合わせて解く問題や、複数のテキスト（文章、図、グラフ、写真資料等）から必要な情報を取捨選択し、目的や状況に応じて適切に表現する問題について、依然課題が見られる。
- 数学的な見方・考え方はたらかせ、記述する問題に課題が見られる。
- 中学校外国語においては、基本的な語や文法事項を理解し、情報を正確に聞き取り、記述する問題に課題が見られる。
- 児童生徒の自尊感情が低いという課題が見られる。
- 教員の授業力量を向上させるための実践的な校内研修は行われているが、分かりやすい指導への改善が十分ではないという課題が見られる。

5 全国学力学習状況調査分析をもとにした2学期に向けた対策・取組

「糸島市学力向上プラン」に基づいて、特に以下の観点から2学期からの対策を考える。

(1) 学力向上のための基盤整備

- ① 少人数学習等の充実
 - ・ 学習習慣定着事業や学力向上地域協働事業による地域人材を中心とする外部講師の活用

(2) 教員の実践的指導力の向上

- ① 学習指導の日常的な改善
 - ・ 児童生徒による授業評価の実施と、評価結果を踏まえた授業改善
 - ・ 条件を満たした考えを書かせたり視点をもとに考えさせたりする言語活動（「書く」活動の段階的指導）の充実
- ② 調査問題を活用した学力向上研修会の実施
 - ・ 領域や観点、問題形式などの自校の課題を把握
 - ・ 解説資料を活用し、過去の学力調査問題をもとに定期考査や授業改善案の検討

(3) 学校における改善の徹底

- ① 検証改善サイクルに基づいた学力向上プランの作成・活用
 - ・ 各学校で結果分析を行い、学力向上プランを修正
 - ・ 「全国学力学習状況調査結果を受けた今後の取組の作成・改善
 - ・ 学校全体での学力向上の取組と定期的な評価の実施（児童生徒による授業評価含む）